

平成19年度コミュニティ助成事業として、(財)自治総合センターから市へ助成金が交付されます。
この事業は、同センターが宝くじ普及広報事業の一環として、宝くじ受託事業収入を財源に地域コミュニティ活動の推進とその健全な発展を図ると共に宝くじの普及広報を目的としています。今年度は、公園にハーブの苗等を植栽する緑化推進事業、自治会活動に使用する会議用テーブルや草刈機等の備品を8自治会へ整備しました。



住民福祉の増進の寄与にも一役 ～自治総合センター宝くじ助成事業～



伝統工芸を使い華やかに ～ファッションデザイン衣装展示会～

県内に在住する若手デザイナーの育成と地場産業の振興、伝統工芸の継承、服飾文化の向上を目的に、2月4日(月)から8日(金)までの5日間、市役所本庁1階ロビーで、ファッションデザイン衣装展示会が開催されました。
同展示会には、沖縄の伝統工芸である「染め」と「織り」を取り入れてデザインされたドレスやバッグ、小物などのほか、沖縄県知事賞、那覇市長賞に輝く作品も展示され、市役所を訪れた市民のみならず、目を惹きつけていました。

ごみの減量や限りある資源の有効活用を呼びかけようと、各家庭に眠っている不用品を持ち寄る「くらしを見直す那覇市民バザール」が1月27日(日)、市民会館中ホールで開催されました。
市婦人連合会の会員らから出品された食器類や衣類、バッグ、玩具など、約一万点が出品された会場には、朝早くから多くの人たちが詰めかけ、お目当ての品をじっくりと品定めをしながら、掘り出し物を探していました。



よみがえれ不用品 ～くらしを見直す那覇市民バザール～



初めての雪。嬉しいな♪ ～2008年雪のプレゼント～

雪に触れる機会の少ない沖縄の子どもたちには、本物の雪で思う存分、雪遊びを楽しんでもらおうと2月14日(木)、古波蔵児童館の子どもたちへ海上自衛隊第5航空群のみなさんから、青森の真っ白い雪約500kgがプレゼントされました。
この日を楽しみに集まった子どもたちの中には、初めて雪を見たという子も多く、陽光を受けて輝く雪に負けないくらい瞳をキラキラさせ、小さな雪だるまを作ったりするなど、普段見ることが出来ない本物の雪を楽しんでいました。

仏陀と共に暮らす人々 アジアの漆工芸展



右は巨大な螺鈿漆器(ベトナム)・左上は優美な箔絵漆器(タイ)・左下は漆の供物器(ミャンマー)

まだ明けやらぬ朝もやの中、僧侶たちの足音が近づいてくる。正装し供物を抱えた村人たちが、家のかどぐちに並び僧侶たちを迎える。
灼熱の太陽の下、ひたすら祈りを捧げる人々や、祖父母から孫まで一家総出でお参りする家族でにぎわう寺院。
いづれも、ミャンマーやタイなどで出会った風景である。さらにタイ王国では、国王はじめ王族も仏教に帰依する。男子は一生に一度仏門に入り、仏教徒としての教えを積む。
ミャンマーやタイの人々にとって、上座部仏教(南伝仏教)の教えは心の拠り所であり、僧侶や寺院はその架け橋でもある。
寺院は、とてもきらびやかである。色鮮やかなタイルの屋根に赤い漆の壁。華やかな漆器の供物器に花や果

物を飾る。仏陀の足の裏に貝の螺鈿細工で飾り立てた仏像もある。寺院はまさに漆工芸の美術館でもある。そこには、日本の古色蒼然とした仏像や寺院の趣とは異なる美の世界が広がる。
ミャンマーやタイを訪れるたびに人々の精一杯の寄進で真新しくなった仏像やきらびやかな寺院を前にして、アジアの造形美の奥深さを考えさせられる。
開催中の「アジアの漆工芸」展で、特色あるミャンマーやタイ、ヴェトナムの漆工芸の美をお楽しみ下さい。
■ギャラリートーク
3月8日(土)
午後2時～
岡本亜紀氏
(浦添市美術館学芸員)
■那覇市歴史博物館
パレットくもじ4階
☎869-15266

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!

“沖縄から世界へ”



私たちは、“沖縄かりゆしFC”を応援します。

外為どっとコムは2008年2月より、沖縄かりゆしFCのメインスポンサーになりました。今後、選手の技能向上を含む同FCの運営を全面的に支援するほか、同FC所属の選手による地元・沖縄でのサッカー教室などの地域密着型イベントへの協賛を通じて、沖縄県民のみならず愛されるチーム作りに寄与してまいります。

詳しくは Webサイトで <http://www.gaitame.com> 外為どっとコム 検索

外国為替をもっと身近に



お問い合わせセンター 携帯・PHSからでもOK ☎0120-430-225

(月曜日 朝7:00～土曜日 朝6:00までの24時間 土・日を除く)

株式会社外為どっとコム 金融商品取引業者 登録番号:関東財務局長(金商)第262号